



平成 17 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 日本空港ビルデング株式会社
代表者名 取締役社長 鷹 城 勲
(コード番号 9706 東証第 1 部)
問合せ先 専務取締役 石 黒 正 吉
(TEL. 03-5757-8025)

平成 18 年 3 月期個別業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 18 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期中間期及び通期の個別業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間期 個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(金額の単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	48,600	2,400	1,300
今 回 発 表 予 想 (B)	48,900	1,700	900
増 減 額 (B-A)	300	▲ 700	▲ 400
増 減 率 (%)	0.6	▲ 29.2	▲ 30.8
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期中間)	41,084	2,990	2,012

2. 平成 18 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	97,500	4,600	2,600
今 回 発 表 予 想 (B)	97,700	2,600	1,400
増 減 額 (B-A)	200	▲ 2,000	▲ 1,200
増 減 率 (%)	0.2	▲ 43.5	▲ 46.2
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期通期)	86,287	5,237	3,229

3. 修正の理由

当中間期の売上高におきましては、国内線並びに国際線航空旅客数が伸び悩む中、新商品や季節感のある商品の積極的な催事販売等により、概ね計画通りに推移したものの、利益面におきまして、従来から経費節減に努めてまいりましたが、物品販売業における売上総利益率が当初計画比で0.5ポイント低下したこと、東京国際空港第1旅客ターミナルビルの改修工事見直しによる修繕費や減価償却費並びに店舗運営に関わる業務委託費等が当初計画を上回る見込みとなりましたので、今回、中間期個別業績予想の修正を行なうものであります。

また、通期業績予想につきましても、国内線並びに国際線航空旅客需要は引き続き伸び悩むと見込まれる中、物品販売業における更なる販売施策の強化・実施等により商品売上の増収に努めてまいるものの、施設管理運営業における家賃収入では、昨年12月より期限付きで実施しておりました第1旅客ターミナルビルの物販・飲食テナント店舗に対する賃料の減免措置をさらに継続延長すること等により当初計画を下回ると見込まれ、売上高全体では、概ね当初計画通りに推移するものと予想されます。一方、利益面におきましては、家賃収入の減少や中間期個別業績予想の修正等により、当初計画を下回る見込みとなりましたので、通期個別業績予想につきましても修正を行なうものであります。

なお、連結業績予想につきましては、現在、集計精査中でありますので、まとも次第発表させていただきます。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上